

熊谷・泉田・山田論文へのコメント

山澤成康（跡見学園女子大学 マネジメント学部）

総括的なコメント

○本論文は医療需要に関して時系列分析を取り入れようという意欲的な試みである。医療価格の医療需要に対する弾力性が小さいという研究結果がこれまで多い発表されているが、時系列の要素を加味しないと、自己負担引き上げ政策の影響が検証できないと主張している。

質問

- 推定モデルに、ほかの経済変数を含める必要はないか。受診率に影響するのは医療価格というよりは、所得のほかにも他サービスとの相対価格などを入れる必要はないか。
- 被扶養者1件あたりの医療費と被保険者1件あたりの医療費など、グループ間で因果関係が確認されるなら、両者を含んだようなVARモデルを推計してはどうか。
- ここで推計しているタイプの構造VAR（脚注12にあるように、行列Bを下三角行列にする場合）では、変数の順序によってショックの影響が異なると考えられる。構造VARとはいえ、恣意的な判断が免れないのではないか。